



学校教育目標

自分から 自分で 自分らしく みんなとともに 学び合う子どもの育成

めざす子ども像

- 健やかな身体をつくる子ども
- 自分の思いをのびのびと表現する子ども
- 他者を尊重し、かかわり合いながら学ぶ子ども
- 自分のできることを発揮する子ども

めざす学校像

- 子どもにとって安全・安心で生き生きと活動できる学校
- 保護者からも地域からも信頼される学校
- 子どもたちが楽しく学ぶ学校
- 笑顔いっぱいの学校

支援部基本方針 誰もが大切にされる共生社会の形成に向けた総合育成支援教育の推進

【重点目標】一人ひとりの学びの充実に向けた校内支援・育支援センターを中心とした地域支援
多様性に対応できる専門性の向上

地域と協働し、ともに歩む学校

めざす教職員像

- 子どもの命と人権を守り、子どもと保護者に寄り添う教職員
- 他者を認め、思いを共有しながら支え合う教職員
- 組織の中で自らの職責を果たし学校力を高める教職員

小学部教育目標

自分の身近な「ひと・こと・もの」に関心をもち、自分から働きかける子どもの育成

【重点目標】

- ・指導者や友達と一緒に様々な経験を積み重ねる中で、自分から好きなことややってみたいことを見つけ、興味関心を広げる
- ・自分なりの方法で、自分の思いを周りの人に伝える
- ・相手からのかかわりを受け入れたり、自分から働きかけたりして、指導者や友達とともに活動する

中学部教育目標

集団や他者との関係の中で自己を発揮し、自ら選び、自ら活動し、学び合う子どもの育成

【重点目標】

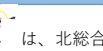
- ・友達や指導者と一緒に多くの経験を重ねる中で、自分のできることを増やし、いろいろな場で力を発揮する
- ・伝えたい、やってみたいという「～したい」の気持ちを持ち、主体的に活動に参加する
- ・家庭や地域で共に生きる生活者として、積極的に地域資源を活用する

高等部教育目標

自分から選択・決定し、地域社会の中で、自分のできることを発揮する子どもの育成

【重点目標】

- ・卒業後の暮らしを見据えて、「こうしたい」「こうありたい」という自分の思いを発信する
- ・周囲の環境に応じて、自分のやりたいことを決め、役割を果たす
- ・地域・社会への関心をもち、様々な資源を活用し、多様な人と関わり合う



今年度の重点と具体的な取組

めざす子ども像

- 健やかな身体をつくる子ども
- 自分の思いをのびのびと表現する子ども
- 他者を尊重し、かかわり合いながら学ぶ子ども
- 自分のできることを発揮する子ども

めざす学校像

- 子どもにとって安全・安心で生き生きと活動できる学校
- 子どもたちが楽しく学ぶ学校
- 保護者からも地域からも信頼される学校
- 笑顔いっぱいの学校

めざす教職員像

- 子どもの命と人権を守り、子どもと保護者に寄り添う教職員
- 他者を認め、思いを共有しながら支え合う教職員
- 組織の中で自らの職責を果たし学校力を高める教職員

今年度の取組の重点

(1) 地域社会と協働・連携する社会に開かれた教育課程の充実

- ①個別の包括支援プランを核として、児童生徒の願いと実態を適切に把握し、身に付けるべき資質・能力を明確にした、教育内容と指導計画の実施に努める
- ②児童生徒自身が成長を感じられることを大切に、各学部、各段階、小・中学校等とのつながりある学びの連続性を担保する
- ③地域と連携した伝統文化教育、環境教育、体験的活動、探究的な学習等、地域の文化力・教育力をいかした学びの実践を進め、児童生徒の持てる力を社会で発揮し、教育活動を充実させることで、地域の人々と交流を深める
- ④地域での貢献活動、協働活動、実習等、自立と社会参加につながる取組を推進し、子どもの意欲を高め主体的な姿を引き出す
- ⑤日々の参観や広報活動等、学校教育活動の情報発信を充実させるとともに、PTA・学校運営協議会の参画の下、学校評価システムを適切に機能させて、保護者・地域社会の評価をよりよい学校づくりに反映させる

(2) 未来社会を見据え、子どもの生きる力を育む授業の創造

- ①「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」の観点を踏まえた目標設定と評価を行う
- ②一人一人の児童生徒の可能性を広げるために、自立活動や各教科等の学習内容における、学習活動の質の向上を進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す
- ③効果的な学びや教職員の働き方改革に向けた ICT 活用を進め、その専門性を高める研修会等を充実させる
- ④防災や感染症等、様々な危機や現代的な課題に対応するための教育活動を充実させる

(3) 一人一人が持続可能な社会の担い手として、共生社会の形成に向けて取り組む

- ①教職員一人一人が持てる力を最大限に発揮し、働きがいを感じることができるウェルビーイングな組織づくりをめざす
- ②全校研究や研修会等を通して、教職員主体の授業改善と働き方改革を進める
- ③教職員一人一人が高い人権意識と多様な価値観を認め合う姿勢をもち、風通しの良い職場づくりに努める
- ④保護者、学校、福祉、行政、医療等の関係機関との連携を深め、適切な支援体制を構築して、状況や課題の迅速な把握と対応を行う
- ⑤育支援センターにおける地域支援と校内支援との一体化から、人材育成を図るとともに、障害理解と特別支援教育にかかる情報発信を積極的に行う